

第5回認知症の支援に関する意見交換会

テーマ：『認知症になっても安心して地域で過ごせるためには

～これまでの意見交換会の振り返りとこれからについて～』

発表者：那覇市ちやーがんじゅう課 包括支援グループ 米須 ゆり恵 氏

那覇市在宅医療・介護連携支援センター ちゅいしーじー那覇 小濱 美咲 氏

○日 時：令和6年2月20日（火）午後7時00分～9時00分

○場 所：那覇市医師会・4階ホール

○参加者：40名

＜認知症サポート医・認知症専門医：10名、認知症の支援に関心のある医師：1名、歯科医師：3名、

那覇市地域包括支援センター：16名（うち認知症地域支援推進員：13名）、その他：10名》

【目的】地域包括支援センター、認知症サポート医・かかりつけ医、認知症疾患医療センター等が連携し、認知症高齢者が早期支援に繋がるため、支援者同士が気軽に相談・助言し合えるネットワークを構築する。

【対象】認知症サポート医、認知症専門医、認知症地域支援推進員、認知症疾患医療センター、

認知症の支援に興味のある医師・歯科医師、行政など

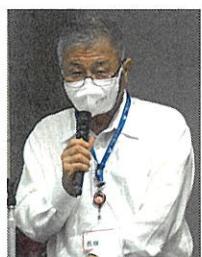
【考察】講演内容について、ほぼ全ての参加者が参考になったとのご意見があった。参加者より、「医療相談シートの提案があり、前へ進んでいこうという意気込みが見られた。早期から相談ができる事が一番なので、使いやすいツールの完成を希望します」、「認知症サポート医との関係づくりを振り返ることで、認知症地域支援推進員や認知症サポート医のお互いの役割について改めて考えることが出来た。地域での認知症支援のために連携していきたい」などの感想があり、中でも「顔の見える関係づくりはとても大切である。今後も継続してもらいたい」との感想が特に多くあった。また、今後については事例を通した研修会の希望が多く寄せられ、回を重ねるごとに認知症の支援に関する参加者の意識が高まりつつある。



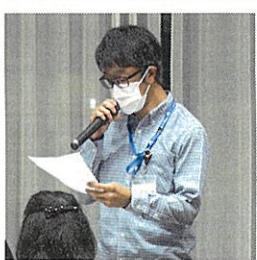
講師：米須 ゆり恵 氏



講師：小濱 美咲 氏



司会：長嶺 勝 氏



グループワーク①：これまでの意見交換会に参加して感じた効果／これからの意見交換会に期待したいこと

グループワーク②：目標達成のためのツール（相談先一覧・医療相談シート・支援の流れ）の活用に向けて

令和5年度
第5回 認知症の支援に関する意見交換会 アンケート結果

令和6年2月20日（火） 19：00～21：00 那覇市医師会・4階ホール

テーマ『認知症になっても安心して地域で過ごせるためには
～これまでの意見交換会の振り返りとこれからについて～』

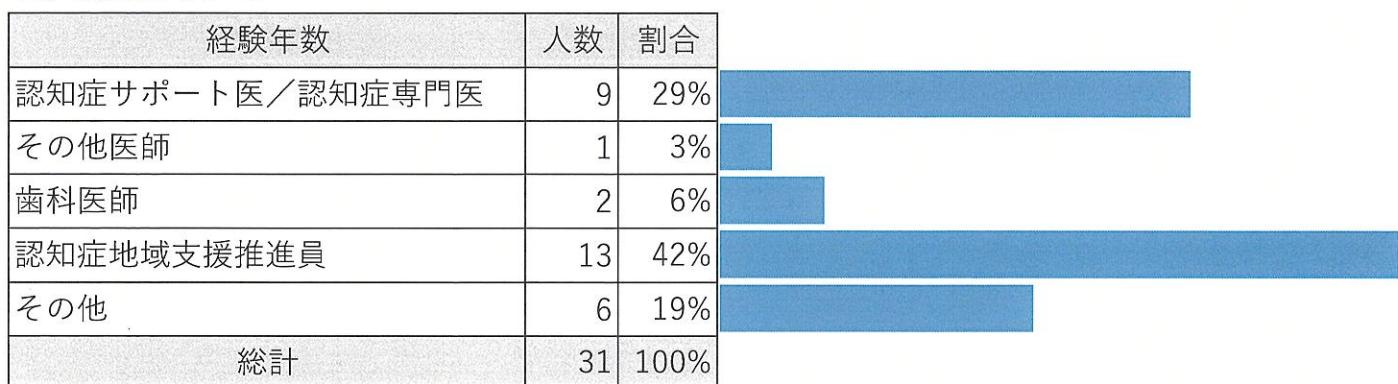
那覇市 ちやーがんじゅう課 包括支援グループ 米須 ゆり恵 氏

那覇市在宅医療・介護連携支援センター ちゅいしーじー那覇 小濱 美咲 氏

参加者：40名 《認知症サポート医・認知症専門医：10名、
認知症の支援に関心のある医師：1名、歯科医師：3名、
那覇市地域包括支援センター：16名（うち認知症地域支援推進員：13名）、
その他：10名》

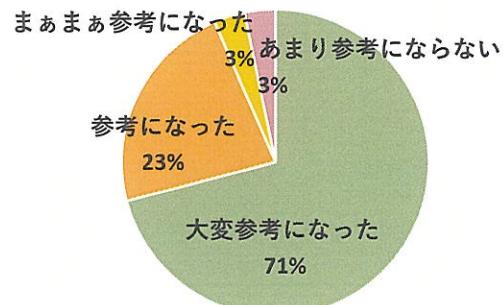
アンケート回答者：31名（回収率：77.5%）

1. 職種について



2. 意見交換会『認知症になっても安心して地域で過ごせるためには』は参考になりましたか。

選択肢	人数	割合
大変参考になった	22	71%
参考になった	7	23%
まあまあ参考になった	1	3%
あまり参考にならない	1	3%
総計	31	100%



- ・タイトルと中身が一致しない。過去の話のおさらいで具体性がない。
- ・多業種の話し合いは有効だと思います。
- ・皆で支援することの大切さを改めて考えさせられた。
- ・今後在宅を始めるにあたり参考になりました。
- ・シートの提案があり、前へ進んでいこうという意気込みが分かった。早期から相談できる事が一番、使いやすいツールの完成を希望します。城間先生の最後の感想がとても良かった。

令和5年度 第5回 認知症の支援に関する意見交換会 アンケート結果

- ・やはり連携…地域住民への周知はもちろん、かかりつけ医への周知も必要。
- ・医師の困りごとも聞けたことが良かった。
- ・率直な意見交換ができる良かった。
- ・相談シートとても良かったです。
- ・「医療相談シート」については活用していなかった為、今後認知症の医療パスの一つとして改良をしながら使用できるよう共通認識としていきたい。
- ・相談内容は公共でとてほしい。そこにはやはり経営がからむというのは納得。ただ、信頼しているクリニックは違和感を最初に気づける場所でもあると思うので紹介案内が欲しい。
- ・認知症サポート医との関係作りを振り返ることで、認知症地域支援推進員や認知症サポート医のお互いの役割について改めて考えることが出来た。地域での認知症支援の為に連携していきたい。
- ・認知症サポート医との顔合わせや話し合いがとても有難いと思いました。連携が取り易くなると思います。
- ・参加していなかった認知症意見交換会の内容が分かって良かった。
- ・認知症サポート医の活用についてさらに丁寧な議論が必要と感じました。
- ・認知症サポート医の先生方の情報を得ることが出来ました。先生方との連携・相談がしやすくなつたと感じた。
- ・社会全体で認知症の方を支える。認知症に対する認知は高まっている。精神科のハードルが下がっている声があり、共感出来ました。
- ・顔の見える支援や作業部会での仕組みづくりが今後も必要と思う。
- ・初めての参加でしたが、先生方の意見を聞くことができ良かったです。
- ・医療機関につながることに苦労している話を聞いて、外来をやっていないので、申し訳ないと思いました。何らかの形で認知症の治療に関わっていきたいと思います。

3. グループワークはいかがでしたか。

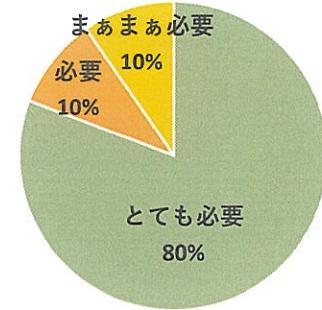
- ・お互いの情報交換になったので良かった。
- ・ファシリテーターがいてスムーズに話が出来ました。
- ・いろいろな職種の困りごとを聞くことが出来て良かったです。
- ・様々な職種で見方も異なり、意見交換出来て良かったです。
- ・最初は緊張したが、皆さん話しやすくて楽しくディスカッションが出来ました。
- ・他職種の皆様の意見は勉強になります。
- ・今後に繋がるための意見交換となったと思います。
- ・これまでのZOOM参加はしたことなかったので、グループ内から話（様子）を聞けた。
- ・先生方の意見を多く聞くことが出来た。
- ・認知症サポート医との連携について進んでいるなと実感できて良かった。

令和5年度 第5回 認知症の支援に関する意見交換会 アンケート結果

- ・相談シートに関する意見交換がとても勉強になりました。認知症サポート医側に負担がいかないような運用はとても大事だと思いました。とても考えられているなと思いました。
- ・とても良かったです。認知症サポート医から直接お話を聞けて勉強になりました。
- ・歯科、総合病院、訪問診療それぞれの先生から意見を伺えたので有難かったです。
- ・それぞれの業務での課題が共有できた。
- ・医師、認知症地域支援推進員、施設職員、それぞれの立場の意見交換ができる良かった。
- ・交流会に参加することで感じた効果が得られたことの意見が多く聞けた。意見交換することで、より視野を広げることが出来た。
- ・うまく意見できなかつたが、認知症サポート医の方々の貴重なお話を聞くことができ良かった。ツールの作成も運用に気を付け、かかりつけ医に周知してもらうことも大切だと思った。
- ・認知症サポート医、認知症疾患医療センターの医師から現場の状況を聞けて良かった。シートの運用について丁寧な周知が必要。かかりつけ医の定義について考えることが出来た。
- ・歯科医の先生から、認知症の方の診療や訪問歯科の運営面での難しさ等の現状を理解することが出来た。

4. 今後、このような意見交換会が必要だと感じますか。

選択肢	人数	割合
とても必要	17	80%
必要	2	10%
まあまあ必要	2	10%
必要ではない	0	0%
総計	21	100%



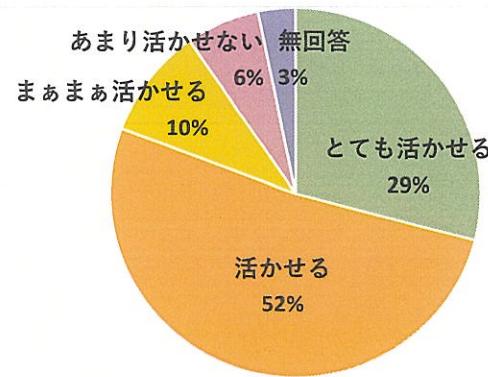
- ・話題から考えると、月1回くらいの開催頻度が良いと思いますが、無理だと思います。自分も参加できません。積み上げが期待できる頻度を考える必要があります。
- ・色々な職種の人々と話がしたいです。
- ・連携がもっと必要になってくるので、繋がる場は大切だと思います。
- ・他者の話はとても参考になります。
- ・顔を合わせて意見を述べ合う機会は必要だと思います。
- ・包括支援センターの方々、医療機関、行政の方々と話し合うことで連携しやすくなると思う。
- ・「認知症」をキーワードとして医師の方同士の意見交換を聞くだけでも、認知症専門医以外の先生の考えを知ることに繋がる。
- ・今後も意見交換会が必要。連携がしやすくなります。
- ・振り返りだけではなく、今後の提案もあり、今後も参加したいと思います。

令和5年度 第5回 認知症の支援に関する意見交換会 アンケート結果

- ・またぜひお願いしたいです。日々の業務でこれでいいのか？と疑問に思った時、相談できる場があればあります。
- ・ここでしかこのような交流が出来ない。
- ・情報交換・連携が必要・重要だと感じる。

5. 明日からの業務に活かせそうですか。

選択肢	人数	割合
とても活かせる	9	29%
活かせる	16	52%
まあまあ活かせる	3	10%
あまり活かせない	2	6%
無回答	1	3%
総計	31	100%



- ・オリブ山病院は3月1日から認知症治療病棟が休棟するそうです（病院諸般の事情により）。より早く情報を得ることが出来て良かった。
- ・医療相談シートが実際に活用されると良い面も悪い面も出てくると思う。
- ・しっかり医師の方と連携を取っていきたいと思います。
- ・改めて認知症の勉強をします。
- ・地域関係者として連携していきたいと思います。
- ・認知症サポート医や認知症疾患医療センターの医師と相談しやすくなるなと感じました。
- ・今までの連携が視覚化されたイメージのシートの活用と思う。見える化することも大切。
- ・医療相談シートとても良い取り組みだと思います。ありがとうございました。
- ・横のつながりを持てたので良かったです。

6. 今後、「認知症の支援」の研修に関して希望するテーマがあればお聞かせください。

- ・地域で認知症サポーター養成講座を開催しています。認知症支援システムにおいてこのような市民啓発はどのような位置にありますか？
- ・年に1回は「看取りについて」、「意思決定支援について」、「胃ろうの是非について」など家族・当事者を囲んでの意見交換会もあると良いと思います。
- ・EOL（エンド・オブ・ライフ）について、人生の最終段階にTx（治療プラン）選択について、意思決定支援についてなど
- ・認知症の治療・診断のため受診が必要ですが、ほとんどの方が受診拒否されます。受診に繋がった好事例を聞きたいです。
- ・受診拒否をしている方、医療に繋がっていない方等への支援の流れについて

令和5年度
第5回 認知症の支援に関する意見交換会 アンケート結果

- ・認知症サポート医との連携の事例紹介
- ・キーパーソンがいない方の支援等
- ・ツールの作成をぜひ達成したいので、他都道府県の事例などの部分があれば紹介してください。
- ・ケースの難航した点などの発表会があっても面白いと思いました。
- ・認知症と思っていたら、別の病気だった…という事例集を聞きたい。
- ・受診促しの成功例など、受診の拒否の方の支援について
- ・事例を通した個別支援の検討

7. 今回の意見交換会を通して、ご意見・ご感想をお聞かせください。

- ・是非、県民市民に認知症の理解を深めてもらえるような市民講演会（患者会・家族会を含めて）を開催してください。
- ・市の方と現場で意見を交わしながら、良い仕組みが作れたらいいなと思いました。
- ・近隣の自治体・地域包括支援センターにもアナウンスをして全県で同様の意見交換会をやっていくと良いと思います。
- ・地域包括支援センターとの連携は出来ていると思います。当院は早めの対応や往診も柔軟に対応するようにしています。クリニックの先生方にお願いしたいのは、読めるように診療情報提供書を書いて欲しいです。
- ・継続していく事に意義があるので、今後も続けてもらいたいです。テーマがより深く実践的になっていくのが分かります。
- ・顔の見える関係づくりはとても大切であると思います。支援のフローチャートがあるととてもやりやすいですし、それを共通理解として一緒に連携していく事ができれば嬉しいです。
- ・今回も他（多）機関の方と意見交換が出来て楽しかったです。ありがとうございました。
- ・かかりつけ医、クリニックの先生達が皆さん認知症サポート医になって欲しいし、地域包括支援センターを周知していく必要性を改めて感じました。
- ・地域包括支援センターと認知症サポート医からの事例（連携）があれば聞いてみたいです。
- ・先生方のお話は大切、為になった。
- ・ちゅいしーじー那覇様、いつも意見交換会を開催・運営して下さりありがとうございます。今後ともよろしくお願ひします。
- ・フランクにお話が出来て有意義だった。